

自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日

I. 一般事項

昨年 5 月 1 日、31 年間続いた「平成」から「令和」に元号が改められた。

米国は昨年 11 月、「パリ協定」離脱を国連に通告したが、昨年中も世界各地で異常気象が多発し、とりわけ、繰り返し日本各地を襲った大型台風や線状降雨帯は、極めて強い暴風雨によって甚だしい被害をもたらした。多数の死傷者を出すに至った。農水関係の被害額は、2,700 億円超とも言われており、年が明けても復旧復興を果たせない地域も多く、被災者は不自由な暮らしを強いられている。亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災地域の方々の一日も早い復旧復興を祈念申し上げる。

外交面では、日韓の間には元徴用工問題に端を発した根深い問題があり、韓国による日韓軍事情報協定（GSOMIA）の破棄通告は寸前で回避されたが、北朝鮮の度重なる飛翔体発射問題や拉致問題、またロシアとの北方領土問題をはじめ、中国との厄介な交渉事も山積し、これらの解決が強く望まれる。米国とは、新たな日米貿易協定により日本側が牛肉や農産物などを、米国側が自動車を除く工業製品の関税を大幅に引き下げることになった。中国は建国 70 年を迎え、その統治力を国内外に強くアピールしたが、昨年 6 月以来「逃亡犯条例」改正案をめぐる学生デモ隊の抗議活動と警察の衝突が起きている香港では、更に衝突が激化し、デモ隊に死者が出るに至った。混迷の中での香港区議選では、民主派が議席の 8 割を確保する圧勝。また台湾総統選挙では現職の蔡英文総統が圧勝したが、香港、台湾と中国との関係には今後も注視が必要となる。

そのような中で、昨年末、中国・武漢に端を発したとされる新型コロナウイルス（COVID-19）は、瞬く間に全世界に拡散して感染拡大を続け、年頭では誰もが全く想像できなかった未曾有の危機を人類にもたらした。日本国内でも感染者数の増加に伴って社会活動が停滞し、4 月 7 日、政府より発出された緊急事態宣言は 5 月 25 日に全都道府県で解除されたが、感染リスクは引き続き解消されておらず、第二波の来襲が懸念されている。全産業が大きな被害を受けている中でも、とりわけ「三密」での営業になりがちな料理飲食業界は、観光、旅行、ホテル業などとともに特に甚大な被害を受け、中国料理業界はまさにこの渦中にある。国は、「東京オリンピック・パラリンピック 2020」の開催延期を決定したが、日中協も本年 3 月、「第 13 回青年調理士のための全日本中国料理コンクール」「中国料理美食展 2020」そして第 8 回定時総会の開催延期を正式決定した。なお、この青年コンクールについては、締切を 3 月末まで延長して作品募集を終え、開催に向けて状況を注視している。この間、営業自粛の波は全国のあらゆる産業、特に料飲業界を襲い、助成金等の難解な申請手続や、その受け取りに一定期間がかかることもあり、個々の判断によって、完全休業をする、テイクアウト等に活路を見出して営業を続けるなど、いずれも苦渋の選択を強いられている。長期化が予想されるコロナ危機に立ち向かうため、中国料理業界は、まず何よりも人命を優先し、どのような場面でも「個々の命は個々で守る」ことを肝に銘じ、「人にうつさない、人からうつされない」ため、細心の注意をはらっていきたい。また「政策金融公庫」や「雇用調整助成金制度」など、できる限り最新の役立つ情報を集めて活用し、各店での対応を進めて、「コロナ以後」の新たな営業形態、中国料理を作り出していかなければならない。

II. 庶務事項

1. 会議の開催概況

(1) 第7回定時総会

- 日 時 令和元年5月21日(火) 午後1時開会
- 場 所 東京都渋谷区 セルリアンタワー東急ホテル
- 出席者 合計145名 [代議員定数218名]
(出席代議員72名 委任状73名)
- 出席理事 29名、監事 3名
- 議 事 第1号議案 平成30年度 事業報告に関する件
第2号議案 平成30年度 収支決算に関する件
監査報告
第3号議案 その他の件

(2) 令和2年新年臨時総会

- 日 時 令和2年1月22日(水) 午後1時開会
- 場 所 東京都渋谷区 セルリアンタワー東急ホテル
- 出席者 合計143名 [代議員定数211名]
(出席代議員69名 委任状74名)
- 出席理事 28名、監事 3名
- 議 事 第1号議案 令和2年度事業計画承認の件
第2号議案 令和2年度収支予算案承認の件
第3号議案 その他の件

(3) 平成31年/令和元年度第1回理事会

- 日 時 令和元年4月24日(水) 午後2時より
- 場 所 東京都中央区 JACCビル7F 日中協会議室
- 出席者 陳建一会長以下26名(委任状6名) ○監 事 3名
- 議 事
 1. その後の経過及び業務執行理事の報告について
 2. 組織の拡充の具体的方法について
 3. 公益社団法人日本中国料理協会第7回定時総会について
 - (1) 平成30年度事業報告について
 - (2) 平成30年度収支決算について
 - (3) その他について
 4. 各種表彰関係について
 - (1) 中国駐日大使表彰について
 - (2) 陳建民中国料理アカデミー賞について

- (3) 日中協会長表彰（功績・技能功労・勤続功労賞）について
- (4) 調理技術技能評価試験 制度功労者感謝状について
5. 第13回青年調理士コンクール・中国料理美食展2020について
6. 調理技術技能評価試験について
7. 国際交流について
8. 機関誌「圓卓」について
9. 食育推進活動について
10. 栄養薬膳師試験、食養薬膳実践講座について
11. 飲食サービス技能認定試験について
12. 「調理師のためのハラル研修」について
13. その他について

(4) 平成31年/令和元年度第2回理事会

- 日時 令和元年7月11日（木）午後2時より
- 場所 東京都中央区 JACCビル1F 日中協調理実習室
- 出席者 陳建一会長以下27名（委任状5名） ○監事 2名
- 議事
 1. その後の経過及び業務執行理事の報告について
 2. 組織拡充の具体的方法について
 3. 国際交流について
 - (1) 中国烹飪代表団の来日の件
 - (2) 中国派遣調査・研究員の件
 - (3) 研修視察旅行の件
 - (4) その他について
 4. 第13回青年調理士コンクール・中国料理美食展2020について
 5. 調理技術技能評価試験について
 6. 「食養薬膳調理」通信講座について
 7. 食育推進活動について
 8. 「第2回李錦記オイスターソースレシピコンテスト」について
 9. 「第14回国産ニジマス中国料理コンクール」について
 10. 「中国料理飲食サービス技能認定試験（サービス技能試験）」について
 11. 調理動画の撮影について
 12. その他について

(5) 平成31年/令和元年度第3回理事会

- 日時 令和元年11月21日（木）午後2時より
- 場所 東京都千代田区 赤坂四川飯店
- 出席者 陳建一会長以下26名（委任状6名） ○監事 3名

○議 事

1. その後の経過について
2. 組織の拡充の具体的方法について
3. 令和2年1月総会について
 - (1) 日時・場所について
 - (2) 令和2年度事業計画について
 - (3) 令和2年度予算案について
 - (4) その他について
4. 第13回青年調理士コンクール・中国料理美食展2020について
5. 機関誌「圓卓」について
6. 国際交流について
7. 「第8回栄養薬膳師試験」及び「食養薬膳調理」通信講座について
8. 食育推進活動について
9. 調理技術技能評価試験について
10. 「中国料理飲食サービス技能認定試験」について
11. 第14回国産ニジマスコンクールについて
12. その他

(6) 平成31年/令和元年度第4回理事会

○日 時 令和2年2月13日(水)午後2時より

○場 所 東京都中央区 JACCビル7F 日中協会議室

○出席者 陳建一会長以下28名(委任状4名) ○監 事 2名

○議 事

1. その後の経過及び業務執行理事の報告について
2. 組織の拡充の具体的な方法について
3. 代議員選挙について
4. 役員選考委員の選任について
5. 第13回青年調理士コンクール・中国料理美食展2020について
6. 国際交流について
7. 食育推進活動について
8. 調理技術技能評価試験・学科試験免除講習会について
9. 第15回国産ニジマス中国料理コンクールについて
10. 「栄養薬膳師」試験、「食養薬膳調理」通信講座について
11. 中国料理飲食サービス技能認定試験(サービス技能試験)1級について
12. その他について

(7) 平成 31 年/令和元年度 臨時理事会（書面評決）

○締切日 令和 2 年 3 月 12 日（木）

○内 容 第 8 回定時総会、賞味会、中国料理美食展 2020、第 13 回青年調理士のための全日本中国料理コンクール決勝大会、表彰式の開催延期について

(8) 平成 31 年/令和元年度 常任理事会

○開催日 平成 31 年 4 月 18 日、令和元年 7 月 3 日、11 月 13 日、令和 2 年 2 月 5 日

(9) 平成 31 年/令和元年度 臨時会長・副会長会議

○開催日 令和 2 年 3 月 10 日（火）午後 4 時より

○会 場 千代田区平河町 赤坂四川飯店

○議 題 第 8 回定時総会、賞味会、中国料理美食展 2020、第 13 回青年調理士のための全日本中国料理コンクール決勝大会、表彰式の開催延期について

(10) 平成 31 年/令和元年度 全国青年部委員会

○開催日 令和元年 10 月 23 日（水）午後 5 時より

○会 場 千代田区平河町 赤坂四川飯店

○議 題 全国青年部委員会の活動内容、第 13 回青年調理士のための全日本中国料理コンクールについて

Ⅲ. 事業実施概況

公 1 事業 中国料理文化の振興を図るための事業

(1) 中国料理の調理等の調査研究及び中国料理専門誌「圓卓」等の発行による国民への中国料理の普及啓蒙を行う事業

①広報誌「中国料理専科 圓卓」の発行 発行部数 7,800 部、発送箇所 530 ヶ所

○発行日 令和元年 5 月 1 日 (Vol. 189)、7 月 1 日 (Vol. 190)、
9 月 1 日 (Vol. 191)、11 月 1 日 (Vol. 192)、
令和 2 年 1 月 1 日 (Vol. 193)、3 月 1 日 (Vol. 194)

②調理技能伝承のための「現代の名工」による調理動画の撮影、公開

○収録日・講師 令和元年 12 月 4 日（水） Vol. 4 櫻井哲也参与

(2) 食育事業等の活動

①内閣府の実施する食育推進全国大会への参加（会場：山梨県）

【 本年不参加 】

②調理技術技能センターの実施する食育推進講座への中国料理専門調理師の参加 [福岡会場]

- 日 時 令和2年2月28日(金)
- 会 場 福岡市立中央市民センター・ホール
- 参 加 10名

(3) 国際交流事業の実施

A. 調査・研究員の海外派遣及び海外調理関係者の招聘

①中国料理の調査・研究員の中国派遣

- 調査内容 四川料理の調査、研究等
- 研究員 4名(団長: 渡邊律夫 団員: 尾崎和広、加藤久典、深瀬悟志)
- 期 間 令和元年11月5日(火)～同16日(土)
- 受入機関 四川卞氏菜根香餐飲有限公司
- 訪問都市 中国・成都市

②中国烹飪代表団の招聘

四川卞氏菜根香餐飲有限公司代表団

- 人 員 5名(団長: 卞 蓉 団員: 李 勇軍、徐 發錦、徐 招永、鄭 先亮)
- 期 間 令和元年10月20日(日)～同31日(木)
- 訪問都市 東京、大阪、名古屋

B. 研修視察旅行の実施

①第63回海外研修視察旅行

- 期 間 令和元年9月17日(火)～同20日(金)
- 訪問地 中国・青島
- 参加者 団長: 鈴木長次理事・中部地区本部長 (団員18名)

②第64回海外研修視察旅行

【開催延期】

C. 各種コンクールの副賞旅行

①第2回李錦記オイスターソースレシピコンテスト表彰式、

李錦記有限公司の招待による「金・銀・銅賞」受賞者 副賞グルメツアー

- 期 間 令和元年10月15日(火)～同18日(金)
- 訪問地 香港、広東省江門、深圳
- 参加者 武樋 了、淵田晃一、山口 晋、中島圭佑、河野篤史、堤(鄭) 晃、
近藤紳二副会長、関根事務局長

D. 世界中餐業連合会等への加盟及び各種事業への参加並びに海外団体との交流

公2事業 中国料理従事者の資質を向上させるための事業を実施し、就労支援を行い、国民の公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 中国料理コンクールの実施

①第2回李錦記オイスターソースレシピコンテスト

- 共 催 李錦記有限公司、株式会社大榮貿易公司
- 予審審査 令和元年6月21日(金)、同25日(火)
- 場 所 東京都中央区 JACCビル1F 日中協調理実習室
- 応募数 [麺部門] 116点 [ランチ部門] 117点 (合計 233点)

- 決勝審査 令和元年7月5日(木)
- 場 所 東京都千代田区 株式会社大榮貿易公司B1 キッチンスタジオ
- 協 力 藤原次雄、安川哲二
- 結 果 [麺部門] 金賞 武樋 了 銀賞 山口 晋 銅賞 河野篤史
[ランチ部門] 金賞 湊田晃一 銀賞 中島圭佑 銅賞 堤(鄭)晃

②第14回国産ニジマス中国料理コンクール

- 主 催 全国養鱒振興協会
- 予選審査 令和元年9月24日(火)、同25日(水)
- 場 所 東京都中央区 JACCビル7F 日中協会議室
- 応募数 [A部門(麺飯)] 55点 [B部門(アラカルト)] 39点 (合計 94点)

- 決勝大会、表彰式 令和元年11月7日(木)
- 場 所 東京都大田区 東京誠心調理師専門学校
- 結 果 [A部門(麺飯)] 金賞 河内 進 銀賞 木下俊輔 銅賞 名嘉真英行
[B部門(アラカルト)] 金賞 山橋孝之 銀賞 當山翔太 銅賞 金田匡史

(2) 賞味会の開催

①第7回定時総会賞味会

- 日 時 令和元年5月21日(火) 午後3時開会
- 場 所 東京都渋谷区 セルリアンタワー東急ホテル ○参加者 約300名

②令和2年新年臨時総会賞味会

- 日 時 令和2年1月22日(水) 午後3時開会
- 場 所 東京都渋谷区 セルリアンタワー東急ホテル ○参加者 約280名

③第12回賛助会員交流賞味会

- 日 時 令和元年11月21日(木) 午後5時開会
- 場 所 東京都千代田区 赤坂四川飯店
- 出席者 賛助会員48社61名、日中協役員27名

④平成31年/令和元年度 全国青年部委員・中国代表団交流賞味会

- 日 時 令和元年10月23日(水) 午後6時より
- 場 所 東京都千代田区 赤坂四川飯店
- 出席者 65名

(3) 「食養薬膳調理」通信講座及び「栄養薬膳師」試験の実施

① 「食養薬膳調理」通信講座

第9期 平成30年8月受講開始～令和2年7月修了予定

- 期 間 2年
- 内 容 20回の講座・添削と2回のスクーリング ○受講者10名

第10期 令和元年8月受講開始～令和3年7月修了予定

- 期 間 2年
- 内 容 20回の講座・添削と2回のスクーリング ○受講者19名

②2019年度食養薬膳調理通信講座 スクーリングの実施

第10期生第1回

- 日 時 令和2年2月3日(月) 午前9時より
- 会 場 東京都中央区 JACCビル7F 日中協会議室
- 講 師 小池俊治先生 小林賢次先生
- 受講者 5名

第9期生第2回

- 日 時 令和2年2月19日(水) 午前9時より
- 会 場 東京都中央区 JACCビル7F 日中協会議室
- 講 師 小林賢次先生 山中一男副会長
- 受講者 7名

③2019年度「栄養薬膳師」試験 (対象：講座修了者) 学科試験の実施

<1>第1回学科試験(日本会場)

- 試験日・結果 令和元年10月6日(日) ○受験者6名

<2>第2回学科試験（日本会場）

○試験日・結果 令和元年10月9日（水） ○受験者 13名

◇2019年度「栄養薬膳師」試験 学科試験受験者 ○合計 19名 ○合格者 合計 16名

④レシピ作成試験の実施

○判定日・結果 令和2年2月6日（木） ○提出者 16名 ○合格者 16名

⑤実技試験の実施

○試験日・結果 令和2年3月11日（水） ○受験者 3名 ○合格者 3名
○免除申請者 13名

◆2019年度「栄養薬膳師」試験 ○合格者 16名

◆中華中医薬学会栄養薬膳専門家分会「栄養薬膳師」登録申請者 16名

◆中華中医薬学会栄養薬膳専門家分会「栄養薬膳師」登録者累計 194名（今期申請者含む）

(4) 栄養薬膳調理実践講座の開催

【 第4回実践講座 開催延期 】

(5) 調理技術技能評価試験への参加

- 学科試験 令和元年8月10日（土）
- 実技試験 令和元年8月10日（土）～同31日（土）
- 試験会場 札幌、東京、名古屋、西宮、広島（全国5会場）
- 受験者数 89名（両試験免除12名）
- 証書交付対象者 68名
- 証書交付対象者累計 3,815名

①調理師熟練者講習会の開催

- 日 時 令和2年3月24日（火）、同25日（水）、同26日（木）
- 会 場 東京都中央区 JACCビル7F 日中協会議室
- 受講者 22名

②調理技術技能評価試験・実技試験準備講習会の開催

- 日 時 令和元年7月8日（月）
- 会 場 東京都中央区 JACCビル1F 日中協調理実習室
- 受講者 14名

(6) 中国料理「飲食サービス技能」認定試験の実施

1 級 【本年度の実施なし】

2 級 ○日 時 令和元年 8 月 7 日 (水)
○会 場 東京都大田区 東京誠心調理師専門学校
○受験者 8 名 ○合格者 6 名

3 級 ○日 時 令和元年 8 月 6 日 (火)
○会 場 東京都大田区 東京誠心調理師専門学校
○受験者 23 名 ○合格者 19 名

(7) 中国料理「飲食サービス技能」認定試験 学科準備講習会の実施

1 級 【本年度の実施なし】

2 級 ○日 時 令和元年 7 月 17 日 (水)
○会 場 東京都中央区 JACC ビル 1F 日中協調理実習室
○受講者 6 名

3 級 ○日 時 令和元年 7 月 17 日 (水)
○会 場 東京都中央区 JACC ビル 7F 日中協会議室
○受講者 3 名

(8) 調理及びサービス技能並びに知識向上のための講習会等の開催

①中国烹飪代表団による料理講習会

○日時・場所 令和元年 10 月 23 日 (水) 東京 「東京誠心調理師専門学校」 出席約 90 名
10 月 25 日 (金) 大阪 「ハグミュージアム」 出席約 80 名
10 月 29 日 (火) 名古屋 「ニチエイ調理専門学校」 出席約 50 名

○講 師 徐 招永 先生 (卞氏菜根香集団総料理長)
鄭 先亮 先生 (卞氏菜根香集団料理長)

(9) 調理技術技能センターの実施する「調理師のためのハラール研修」への参加

○会場・日時・場所

①札幌会場 令和元年 9 月 27 日 (金) 光塩学園調理製菓専門学校
②仙台会場 10 月 3 日 (木) 宮城調理製菓専門学校
③新潟会場 10 月 25 日 (金) 新潟調理師専門学校

④福岡会場	令和元年 11月13日(水)	リファレンス駅東ビル 貸会議室
⑤高松会場	11月19日(火)	キッス調理技術専門学校
⑥西宮会場	12月18日(水)	兵庫栄養調理製菓専門学校
⑦静岡会場	令和2年 1月16日(木)	中央調理製菓専門学校
⑧広島会場	1月23日(木)	広島酔心調理製菓専門学校
⑨名古屋会場	1月30日(木)	東邦ガス(株) キッチンスタジアム
⑩東京会場	2月 5日(水)	JCビル

(10) 入職促進活動及び保護観察青少年の社会復帰支援等

- A. 調理師養成施設からの申請により会長賞を83校に授与した。
- B. 本年は保護観察青少年の受入れ事例はなかった。
- C. 機関誌「中国料理専科圓卓」に、法務省の「社会を明るくする運動キャンペーン」広告の掲載及び当会ウェブサイトへのバナーを設置した。

その他事業

(1) 収1事業 (不動産貸付事業)

本会が所有する7階建てJACCビルの4階、5階、6階をテナントに貸し、賃貸収入を得た。また、7階を会議室として、1階を調理実習室、会議室としてテナントや一般会社に随時貸し出し、賃貸収入を得た。

(2) 収2事業 (物品販売事業)

平成31年/令和元年度は会員バッジの販売を行い、会員の本会への帰属意識の向上を目差し、本会組織の足腰の強化に務めるとともに、総会時会員への各種表彰に於いて、副賞として当会シンボルマーク入りメダルを記念品として支部経費負担で頒布し、模範的活動者及び技能研鑽者を奨励した。

(3) 共益事業 (相互扶助事業)

業界従事者福祉向上活動の一環として日中協見舞金制度を実施し、60歳未満会員4名、63歳以下2名、66歳以下2名、69歳以下1名、70歳以上1名の合計10名の遺族に見舞金等の支払いを行った。